

数値限定発明、パラメータ発明の新・実務マニュアル

～開発成果を最大限に生かす 他社特許に的確に対応する～

●発刊 2018年8月 ●体裁 B5版・207ページ ●定価 ¥38,500 (税込(消費税10%))

執筆者一覧 (敬称略)

- 速水進治 (プレシオ国際特許事務所)
- 執行敬宏 (プレシオ国際特許事務所)
- 萩原京平 (プレシオ国際特許事務所)
- 清水京 (プレシオ国際特許事務所)
- 中谷陽子 (プレシオ国際特許事務所)
- 水長雄大 (プレシオ国際特許事務所)
- 染野健 (プレシオ国際特許事務所)

紙面の都合上、一部省略して記載しております。
詳細は弊社ホームページをご覧ください!

検索

BC180801 情報機構

★数値限定発明・パラメータ発明の活用には特化した新しい基本書! 事業に貢献するための特許戦略を、豊富な事例を基に解説
★発明発掘の具体的手法、審査官を考慮した明細書の作り方、権利化のノウハウ、拒絶理由通知への対応、各シーンにおける他社特許対応など

【目次】 ※詳細は弊社HPをご確認ください。

第1章 序章

はじめに

1. 特許は事業に貢献するものでなければならない
2. 事業に貢献するパワフルな特許の生成
3. 数値限定、パラメータの活用
4. 権利化の出発点は製品の注視と技術の本質洞察

第2章 数値限定発明・パラメータ発明を発掘する方法

1. 真の意味での発明発掘
2. 発明発掘のポイント ～技術の本質の追求と新規切り口
3. 発明発掘の手法
4. 発明発掘のタイミング
 - 4.1 シーン1: 開発目標としていた性能の向上に成功した
 - 4.2 シーン2: 顧客のクレームを解決した
 - 4.3 シーン3: 低コストの材料を使いこなすことに成功した
 - 4.4 シーン4: 製造条件を少し変更したら性能が向上した
 - 4.5 シーン5: 分析方法や評価方法を工夫した

第3章 数値限定発明・パラメータ発明の新規特許出願では何に留意すべきか?

1. 開発目線の出願から脱却して経営目線の出願へ
2. 経営目線の出願へ →パラメータ発明の権利化へ
3. 審査に強く権利行使に耐えるパラメータ特許を成立させるには
4. パラメータの選定と請求項の記載
5. 明細書の作り込み
 - 5.1 審査を考慮した明細書のつくりかた
 - 5.2 POINT1: パラメータの技術的意味
 - 5.3 POINT2: 従来技術水準との対比
 - 5.4 POINT3: 製法上の特徴
 - 5.5 POINT4: 比較例の使い方
 - 5.6 POINT5: 豊富な実施例
 - 5.7 実施例準備の困難性

第4章 数値限定発明・パラメータ発明の拒絶理由通知対応では何に留意すべきか?

1. 新規性はどのように判断されるか
 - 1.1 新規性の判断の手法
 - 1.2 一致点・相違点とは

- 1.3 本発明と引用発明との差異点が数値の違いのみである場合の新規性の判断
- 1.4 「一応の合理的な疑い」とは
2. サポート要件、明確性要件、実施可能要件はどのように判断されるか
3. 精選・拒絶理由対応のワザ
4. 事例研究 (化学分野)
 - 4.1 事例1 (参考判決: 平成23年(行ケ)第10100号)
 - 4.2 事例2 (参考判決: 平成23年(行ケ)第10139号)
 - 4.3 事例3 (参考判決: 平成27年(行ケ)第10099号)
 - 4.4 引用発明の追試条件に関する判決例(2例)
 - 4.5 明確性要件に関する近時の判決例(平成28年(行ケ)第10005号)
 - 4.6 サポート要件に関する判決例(『トマト含有飲料事件』平成28(行ケ)第10147号)
 - 4.7 サポート要件に関する近時の判決例(『ポリビニルアルコール系』)
5. 事例研究 (電子デバイス・機械分野)
 - 5.1 事例1
 - 5.2 事例2

第5章 パラメータ発明の他社特許対応では何に留意すべきか?

1. 他社特許対応概説
2. パテントクリアランスの考え方
3. 権利範囲の正確な把握は競争優位性と直結する
 - 3.1 クレーム解釈の基本
 - 3.2 グレーゾーンに対する判断
4. 他社特許に対する過剰反応はすでに権利行使を受けている状態
5. パラメータ特許へのアタック
 - 5.1 概説
 - 5.2 新規性・進歩性違反欠如に関するアタック
 - 5.3 記載要件に関するアタック
6. 権利範囲の解釈に関わる判決例(化学分野)
 - 6.1 パラメータの測定方法(平成25年(ワ)第3742号)
 - 6.2 構成要件の充足性(平成27年(ワ)11185号)
 - 6.3 権利範囲の解釈に関わる近時の判決例(化学分野) 平成27年(ネ)第10016号
7. 権利範囲の解釈に関わる判決例(電子デバイス・機械分野)
 - 7.1 数値限定を満たす必要のある部位(平成24年(ワ)15613号)
 - 7.2 数値限定と禁反言(平成24年(ワ)第15614号)
 - 7.3 数値範囲と均等論(平成24年(ワ)第7887号)

★書籍申込書

FAX : 03-5740-8766、または、→<http://www.johokiko.co.jp> にて

※FAX番号はくれぐれお間違えの無い様お願い致します。

(書籍申し込み要領)

- ◎右記記入の上、FAXでお申込を承ります。
- ◎お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
- ◎未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。
発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
- ◎お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
- ◎振り込み手数料はご負担ください。
- ★ <http://www.johokiko.co.jp/> の申込みフォームからも承ります!

書籍名 HP 【BC180801】		冊 ※希望数量をご記入ください。	
数値限定発明、パラメータ発明の新・実務マニュアル		書籍	
会社名			
所属部課・役職等			
申込者氏名		TEL	FAX
E-MAIL		上司役職・氏名	
住所〒			
備考			
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送			

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 policy@johokiko.co.jp